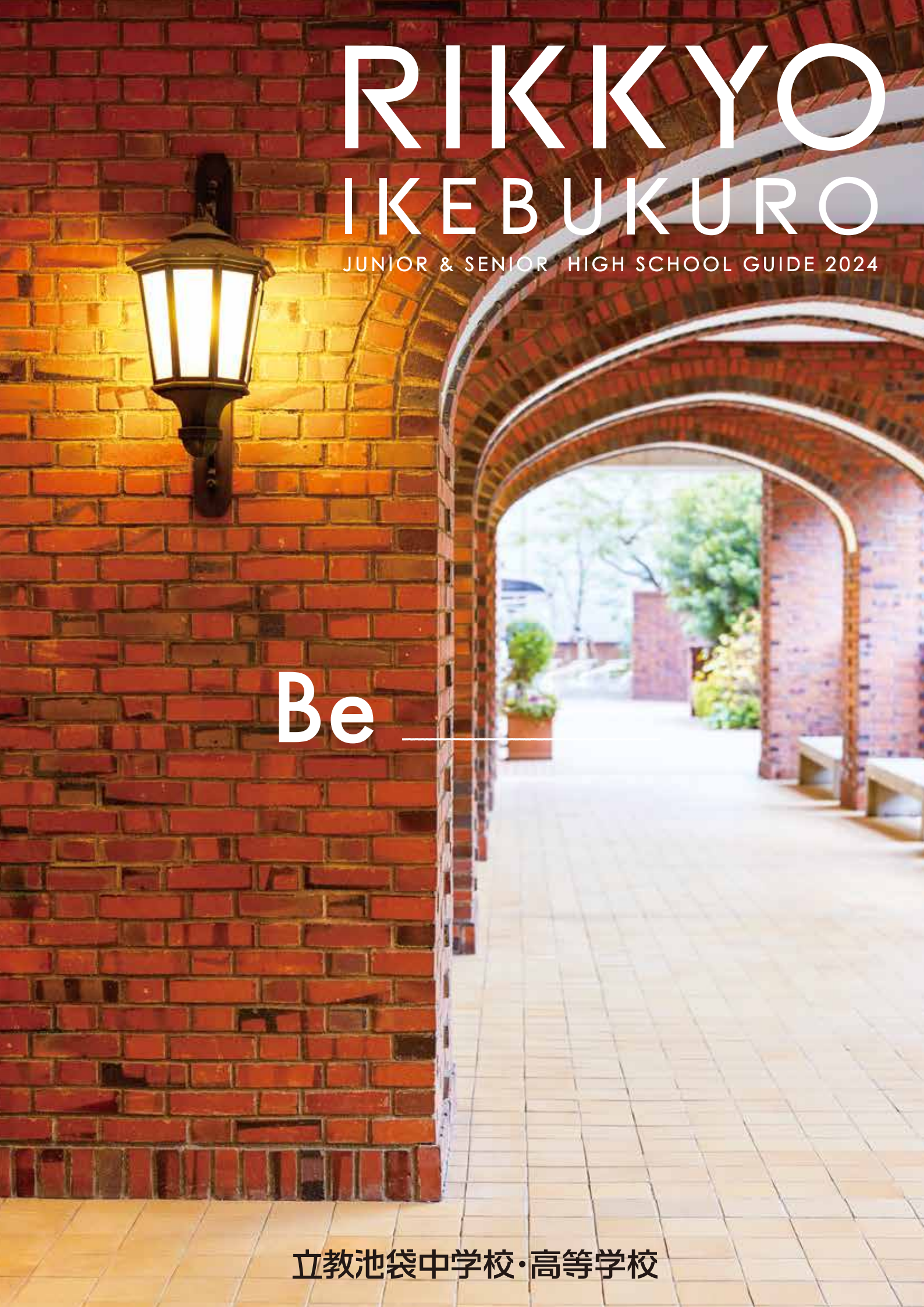


RIKKYO IKEBUKURO

JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL GUIDE 2024

Be

立教池袋中学校・高等学校

立教池袋中学校・高等学校は、「テーマをもって真理を探究する力を育てる」
「共に生きる力を育てる」を教育目標に定め、
生き方にテーマのある主体的な人間の育成に力を注いでいます。
自らの興味を探究する自由な学びや、
ICT教育をはじめとする最先端の学習環境と充実した体育施設を用意。
生徒たちは自由と自律の精神を育み、人間性豊かなRikkyo Boyとなって、
将来までの道のりを自分らしく歩んでいく力を養っていきます。

ここで学ぶ6年間で、
自分らしい生き方を見つけよう。

Be *a Rikkyo Boy*

Contents

Be a Rikkyo Boy
ここで学ぶ6年間 P02
RIKKYO SESSION 01 P04
Be Free
自由な学び P06
RIKKYO SESSION 02 P08
Be Together
共に生きる学び P10
RIKKYO SESSION 03 P12
教育の特色 P14
中高一貫プログラム P15
中学の学び P16
高校の学び P17
特色ある授業 P18
英語教育 P20
教科紹介 P22
リーダーシップ教育 P24
ICT環境 P25
体験学習 P26
キャリア教育 P27
国際交流 P28
クラブ活動 P30
施設紹介 P32
学生サポート P34
校長メッセージ・沿革 P35

※写真には2021年度以前に撮影したものも含まれます。

RIKKYO SESSION 01

高校生 × 立教大学OB

個性を磨き、多様性を受け入　れる

高校3年
西澤 城太朗さん

×

卒業生
萩本 大貴さん
三菱UFJ証券
ホールディングス株式会社 勤務
（2015年卒業）

Voice of Rikkyo Boys
［ 卒業生・生徒の紹介ページ ］

※学年等の表記は撮影当時のものです。

豊かな人間性を育むための環境が整っている

西澤　僕は立教池袋に中学校から入学して、今、高等学校の3年生です。萩本さんがこの学校を卒業してよかったと思うのは、どんなところですか？

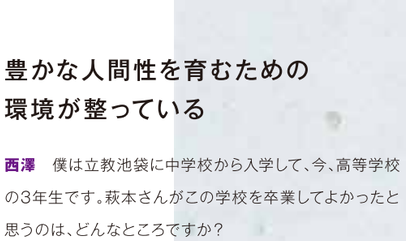
萩本　社会人になって、改めて立教池袋でよかったと感じているよ。受験勉強の時間を、興味があることを深掘りする時間にあてられるので、野球に全力で取り組んだり、学校のプログラムでカナダキャンプに行ったり、いろんな体験ができたね。

西澤　そういった経験は、今の仕事でも活かされていますか？

萩本　そうだね。たくさんの経験を積んだことで対応力が培われて、多様な意見を受け入れられるようになったし、どんな話を振られても自分の意見を言えるようになったね。他の人を受け入れる姿勢は、立教池袋らしいんじゃないかな。

西澤　それは僕も感じています。学校生活の中で、人間関係で嫌な気持ちになったことはないし、相手のことを思って行動する人が多いですね。

萩本　個性を尊重して、互いを思い合うというのは、キリスト教精神が身についているからかもね。今でも礼拝で先生が話していた「隣人愛」や「感謝の心」について、ふと思い出すことがあって。とても大切なことを教えてくれたし、生徒のことを思ってくれていたんだなって。



西澤　僕は中学校で初めてキリスト教について学びましたが、自然と他の人のことを考えられるようになりました。

萩本　立教池袋の学生は周りと上手くコミュニケーションが取れているイメージだよね。私は中学・高校・大学と野球に打ち込めたことで、先輩や同期、後輩ともさまざまな人間関係を構築でき、関係を今でも続けられているよ。

西澤　男子だけなのもあって、言いたいことを気兼ねなく言えて、自由に振る舞えますよね。小学校からの内部進学生とも部活を通じて、すぐ仲良くなれました。

萩本　この学校は先生たちとの距離が近いよね。西澤君は将来、やってみたい仕事とかあるの？

西澤　具体的には決まっていないんですが、趣味といえるぐらい夢中になって打ち込める仕事に就きたいと思っているんです。だから大学では、海外に行ったり、英語を学んだり、自分のやりたいことに挑戦していくつもりです。

萩本　それはいいね！たくさんのことにチャレンジして、さまざまな人と出会い、たくさん吸収して人間の幅を広げていきたいね。立教池袋は、伝統的に自由な校風で好きなことをやらせてもらえるから、今のうちからさまざまな経験を積んでおくといいかもね。

西澤　そうですね。大学生活を充実させるためにも、残りの学校生活でたくさんの物事にチャレンジしていこうと思います！

キリスト教

「キリスト教に基づく教育」を建学の精神に掲げ、あらゆる束縛から解放し、自由に真理を追い求めることのできる場へ導けるよう力を注いでいます。

礼拝

「祈る」という行為は、決して神様にお願いをすることではありません。日常の生活から一歩離れて、普段見落としていることに目を止める時間です。

男子校

異性の目を気にすることなく、のびのびとした環境の中で一生涯の友を得ることができるのも男子校ならではの魅力です。

主体性を持って自由に学び、自分の興味を探究しよう

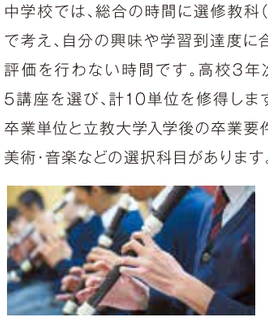
主体的にテーマを探し出し、
自ら学び続けようとする力は、
これからの社会を生きていく上での基盤となる能力です。
多彩な授業が揃う選択講座をはじめ、
生徒自身が考え、学びを深める機会を数多く用意。
生徒が自らの個性や興味を見極め、
徹底的に追究できる環境が整っています。

自由な学び

興味や進路に合わせて自分にあった時間割を考える

豊富な選択授業

中学校では、総合の時間に選修教科（選科）を設定しています。生徒が自分で考え、自分の興味や学習到達度に合わせて講座を自由に選択でき、成績評価を行わない時間です。高校3年次は、50あまりの自由選択講座から5講座を選び、計10単位を修得します。立教大学特別聴講生制度もあり、卒業単位と立教大学入学後の卒業要件単位となります。高校1・2年次には、美術・音楽などの選択科目があります。



中学生
基礎＆発展の選修教科
＆
高校1・2年生
美術・音楽などの選択科目
＆
高校3年生
必修選択＋自由選択講座

自由な学び

定期テストの結果だけでなく、日頃の学習も評価

認定制評価

中学校・高等学校とも「認定制」という独自の方法で学習評価を行います。各教科ごとに学習内容を定め、目標に到達しているかどうかで合格・不合格を認定します。全教科に合格すると進級が認められます。定期試験、平常の成績、出席状況、授業態度、学習への取り組み、自由研究などが評価対象になります。

A合格	合格とされた者の中で、特に優れた者。
B合格	合格とされた者の中で、優れた者。
合　格	学年末の教科認定会で個々の生徒の1年間の成績資料をもとに審議した結果、合格と認定された者。
不合格	学年末の教科認定会での審議の結果、合格と認定されなかった者。

自由な学び

自らのテーマを探究し持論を打ち立てていく

卒業研究論文

卒業論文の作成は高校2年次から始まります。最初の一年間は教員全員が小グループ（3人程度）を担当し、テーマの発見から仮説作成まで一人ひとり面接を繰り返して指導します。3年次では週2時間の卒論講座を通して生徒自ら論文を完成させ、プレゼンテーションまで行います。生徒はこの学びを通して自分で考え、論拠に即した結論を導き、わかりやすく伝達する過程を体験します。

高2	4月	基礎資料の読み込み開始
	6月	オリエンテーション
	9月	卒論の領域決定、面接
	11月	卒論のテーマの決定、面接
	2月	仮説の作成、面接
高3	5月	中間報告書作成、面接
	9月	卒論提出・審査
	10月	口頭発表

RIKKYO SESSION 02

高校生×立教大学生

将来の可能性を広げる、多彩な学び

高校2年
永久保 智也さん

×

立教大学生
徳永 大輝さん
（2018年卒業）

大学、社会人を見据えた実践的なプログラム

永久保　徳永さんは、立教大学在学中に司法試験に合格したと聞いて驚きました！僕は、どの学部に進むか迷っています。

徳永　自分が一番勉強したいことを考えるのが大事だよ。私は中学生の時、テレビドラマをきっかけに法律家になりたいと思って法学部に進むことにしたんだよね。

永久保　なるほど。大学に進学してから役に立ったと思う、立教池袋の授業はありますか？

徳永　選択講座の「法律」を取ったことで、「こういう仕事ができたらいいな」と自分の進む道を確かめられたね。他に「異文化トレーニング」は大学のグループワークのような形式だったから、とても役立ったな。あと、立教池袋はネイティブの先生も多いし、全体的に英語のレベルが高いと思うよ。

永久保　僕もこの学校に入ってから英語が得意になって、英検2級も取得できました。ちなみに大学では一般受験で入ってくる人たちと、内部進学生で学力の差は感じたりしましたか？

徳永　それは全然感じなかったね。むしろ、英語のリスニングやレポート作成、ゼミでのプレゼンテーションなどは内部進学生の方ができている印象で。たぶん立教池袋の認定制評価や選択講座での学びを通して、課題解決する力が養われるんじゃないかな。

永久保　確かに選択講座は自分の好きな授業を選べるので前向きに勉強できていますし、座学だけじゃなくてフィールドワークもあったりして、いい経験になっています。

徳永　たくさんある講座の中から自分の興味がある授業を受けられるのも立教池袋の特徴だよね。そのおかげで「法律」の授業が受けられたし、キャリアの選択肢を広げるためにとてもいいシステムだと思う。

永久保　大学で文系の学部に進んでもグラフを作ったり、分析したりすることは必要になるし、一つの学びが複数の教科で役立てられる感じですよね。

徳永　それから、大学みたいに卒論があるのも立教池袋ならではだよね。

永久保　僕は文章を書くのが苦手なのですが、卒論はどうやって進めましたか？

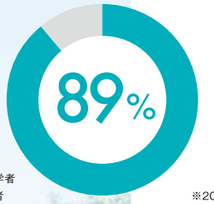
徳永　まず、自分が興味のあるテーマを選んだ方がいいよ。その後は資料収集をして、自分の考えをまとめて、最後はみんなの前でプレゼンテーションするんだけど、困った時はよく先生に相談していたね。

永久保　僕は将来やりたい仕事もまだ決まっていないんですが、大学生活を送る上でアドバイスはありますか？

徳永　ほとんどの人が入学時点では、やりたいことが決まっていないので大丈夫だよ。それにやりたいことが決まっても、「自分にできるかな」と不安になることがあると思う。私も司法試験を受けるのは不安だったけど、自分を信じて頑張った結果、合格できたから、何ごとも恐れずに取り組む姿勢が大事だよ。

高校卒業後の進路

約9割が立教大学へ進学



※2022年度卒業生

立教大学特別聴講生制度

高校3年次は立教大学の授業科目を受講することができます。大学生に交じって授業に参加し、演習を行います。受講した科目は、自由選択講座として高校の卒業単位になるのと同時に、立教大学に進学した際の卒業要件単位としても認定されます。例年10名程度の生徒が受講しています。

Path
［ 進路についてのページ ］

※学年等の表記は撮影当時のものです。

Be Together

仲間と共に協力し、
新たな未来を切り拓こう。

互いの個性を認め合い、
協働して新たなものを生み出すことは、
複雑化する現代社会において必要とされる資質のひとつです。
本校では、生徒会活動やクラブ活動、学習活動における
さまざまな目標や課題に対して、仲間と協力して成し遂げることで、
共に生きる力を育てます。

共に生きる学び

自分たちで考え、話し合い、行動する

生徒会活動

生徒会 「個々のスキルを生徒のために役立てる」を信念に活動しています。

より過ごしやすい学校づくりのため、生徒自ら立案し、実現に向けて会議を重ねます。学校のルールづくりや自治活動、学校生活がより便利になるような提案など、これまでにも生徒のアイデアと行動力によってさまざまな取り組みがなされてきました。例えば2021年度には「売店の電子マネー導入」や「生徒会公式インスタグラムアカウントの設立」、「生徒会則の改正」などの議案を可決に導くことができました。また「1階カフェテリアにアイスの自動販売機を設置したい」という議題においては、アイス自販機設置の意義を考えた上で設置スペースや消費電力を調べ、ゴミのリサイクルといったSDGsに根差す長期的な運用イメージをもって、生徒が直接業者や学校と掛け合って審議を続けました。新型コロナウイルスの感染拡大の懸念が拭えず、結果的には否決されてしまいましたが、こうした入念な準備の積み重ねが、年度を超えた実現に向けて引き継がれていくことでしょう。その他、他校生徒会との合同討論会の企画・運営をはじめとした渉外活動、生徒会誌の発行といった校内向け広報活動など、学校における幅広い実務に携わっています。

電子マネー導入
カフェテリアにある売店での支払いは電子マネーでも対応可能に！

ボランティア活動 フィリピン薬品支援ボランティア

1998年からフィリピンの小学校に薬品を送る活動をしています。生徒が自主的にR.I.F.でバザーを開き、生徒や保護者から献品された物を販売した収益を日本フィリピンボランティア協会の学校保健室事業を通じて現地のNGOに渡し、薬品に交換して配布します。現地の小学校から送られてくるお礼の手紙は、異文化交流のきっかけとなっています。

その他の活動

清里環境ボランティア	ワークキャンプ（渋川）
ワークキャンプ（榛名）	ごみゼロ運動With豊島区
豊島区保育園ボランティア	

生徒主体で行う行事

R.I.F.（Rikkyo Ikebukuro Festival）

毎年、11月2日、3日の2日間にわたり開催される、秋の最大行事R.I.F.。学芸部の発表、演奏会、有志演奏・ダンス、生徒個人や学年での自由研究・イベント、模擬店、運動部の招待試合など、さまざまな催しを行います。そのために、R.I.F.実行委員会が約半年かけて企画・考案。中高生が一丸となり、会場の割り当て、予算の立案など、議論を重ねて作り上げていきます。当日も来客対応や企画運営など、実行委員一人ひとりが主体的に動きます。

体育祭

体育祭実行委員会が協力して企画・運営。過去の体育祭を振り返り、競技の選定、進行方法、備品の確認などについて、半年間かけて議論を重ねます。並行して、体育祭用のTシャツのデザイン画を一般生徒より募集し、決定したものを全校生徒が着用します。当日は、実行委員会による綿密な計画と、参加者一人ひとりの協力によってプログラムを進行。全員、力いっぱい競技に取り組みます。

RIKKYO SESSION 03

生徒会　中学生×高校生

中高一体となり、自由な学　校生活を

※学年等の表記は撮影当時のものです。

頼りになる上級生や先生方が、やりたいことを力強くサポート

大西　僕が生徒会長として、学校全体を見たときに感じる立教池袋の特徴の一つが、生徒が主体となって自由に活動できることです。

荒井　そうですね。R.I.F.(Rikkyo Ikebukuro Festival)では、esports企画をやりたいと思って、学校側に提案したりしました。そういった時には先生方が相談に乗ってくれて、企画の手伝いをしてくれましたね。

大西　僕も学校生活をより良くするための議案を学校側に提出する際には、生徒だけでは気づけない視点からアドバイスをもらえました。中学生の二人はどうですか？

清水　何かやりたいと思った時には、先生が親身になって話を聞いてくれて、具体的な意見をもらえます。中学校は文化祭を開催するかどうか生徒に任されているんですが、自分たちが開催することを決めると、時間を割いて協力してくれました。

川崎　僕は元々、消極的な性格だったんですが、中学1年生の時に担任の先生に背中を押されて学級委員になり、現在は生徒副会長を務めています。また、休み時間にも気さくにコミュニケーションが取れています。

大西　先生のサポートもあって、積極性が育まれたんだね。ちなみに中学生から見て、高校生と一緒に学校生活を送るというのはどうですか？気を遣わないで、本音で話してね(笑)。

川崎　僕は、生徒会や部活で高校生と一緒になることが多くあります。生徒会では発言が少ない時には「何か意見ない？」と話を振ってくれたり、積極的に意見を取り入れてくれたり、優しく接してくれますね。

清水　それに高校生はこの学校のことをよく知っているので、自分たちがやりたいことを相談すると「以前、同じようなことがあったよ」と、自身の経験を伝えてくれることも多いです。

荒井　確かに高校生側から見ても、意味もなく厳しくするといったような変な上下関係はないですね。年齢に関係なく、話しやすい雰囲気だと思います。

大西　僕は生徒会長になってから、中学生に「どんなことをしているんですか？」「僕も将来、生徒会長になりたいんですけど、どうすればいいんですか？」と声をかけられるようになりました。それも高校生と中学生が一緒に学校生活を送っている立教池袋ならではだし、高校生や上級生がいいお手本になれたらうれしいですね。

School Life
生徒会活動のページ

年間行事

●中学 ●高校 ●共通

4月
- ●入学式
- ●中1・高1オリエンテーション
- ●イースター礼拝
- ●健康・体力診断

5月
- ●創立記念礼拝
- ●中1新入生キャンプ
- ●中2清里キャンプ
- ●●中3・高2校外学習
- ●高1キャリア学習
- ●高3TOEIC週間

6月
- ●前期中間テスト
- ●CCES交換留学

7月
- ●前期総合テスト
- ●学年行事
- ●夏季休業

8月
- ●海外キャンプ
- ●英国語学研修
- ●ワークキャンプ
- ●中学英数補習

9月
- ●中学実力テスト
- ●生徒総会

10月
- ●中期中間テスト
- ●体育祭

11月
- ●R.I.F.(文化祭)
- ●秋季休業
- ●収穫感謝礼拝

12月
- ●創立者ウィリアムズ主教記念日

12月
- ●帰国児童入試
- ●中期総合テスト
- ●クリスマス礼拝
- ●冬季休業

1月
- ●中1・2実力テスト
- ●聖パウロ回心日礼拝

2月
- ●中学一般入試
- ●高校一般入試
- ●生徒会役員選挙

3月
- ●後期総合テスト
- ●中1・2合唱コンクール
- ●卒業式
- ●春季休業
- ●スキー学校
- ●CCES短期留学

教育の特色 ― 3つの教育の柱 ―

Features of Education

立教池袋では、「テーマをもって真理を探究する力を育てる」「共に生きる力を育てる」を教育目標とし、3つの教育を実践しながら、生き方にテーマのある主体的な人間の育成を目指しています。

「テーマをもって真理を探究する力」「共に生きる力」

Leadership Education

リーダーシップ教育

St. Paul's Leadership Education

現代は、グローバル空間・ローカル空間が複雑に絡み合い多様な課題を抱えています。課題を解決する1つのルートや1つの正解がない複雑な社会だからこそ、人々の協調・協働が不可欠であると考えます。その中で必要なのは役職・権限・カリスマ性ではありません。現代に求められ、誰もが発揮できる「新しいリーダーシップ」を育成します。

- ・キャンプ（中1・中2）
- ・リーダーシップ概論（高3自由選択講座）
- ・運動部リーダープログラム
- ・企業による課題解決型学習

Citizenship Education

シチズンシップ教育

St. Paul's Citizenship Education

多様性あふれる現代社会に生きる一市民として、他者との協働は欠かせません。社会が抱える問題に気づき、解決方法を考え、実行する力を育みます。また、現代社会においてICTの活用は避けられません。「ICTの善き使い手となり、情報社会を構築する善き市民となることを目指す『デジタル・シチズンシップ』」も不可欠だと考えています。

- ・しょうがい体験
- ・性教育講演会
- ・各種ボランティア活動
- ・各教科でのICT教育の推進
- ・キャリア学習（高1）

Global Education

グローバル教育

St. Paul's Global Education

グローバル化が急速に進み、世界への視野をより広げることが可能となりました。時に大局的な動きに注目が集まりますが、世界は独自の文化を大切にする多くの地域から成り立っています。世界全体を俯瞰する力とともに、ローカルな空間にもフォーカスできる眼差しを身につけ、現代のグローバル社会に貢献できる人材の育成を目指します。

- ・アメリカキャンプ
- ・英国語学研修
- ・個人留学
- ・校外学習（中3・高2）

豊かで的確な日本語を使う能力

生きた英語を使う能力

教科活動（必修科目・選択科目）

学級／学年の活動・学友会活動・生徒会活動

キリスト教：建学の精神／自校教育

中高一貫教育プログラム

Junior & Senior High School Integrated Education Program

6年間の中高一貫教育により社会性を築き、確かな学力を伸ばしていきます。

中学から高校、高校から立教大学への進学率は、共に約9割です。受験を意識しない学校生活では、多種多様な学習活動や体験学習を通して、仲間と協力し合い、興味関心の幅を広げ、自らの「テーマ」を見つけるための時間を十分にとることができます。

	中学 基礎学力を固め、学習習慣を身につける			高校 教養を身につけ、自立した人間に成長する		
	1学年	2学年	3学年	1学年	2学年	3学年
学体習験 P26	POINT 1 新入生キャンプ	POINT 1 清里キャンプ	POINT 2 校外学習		POINT 2 校外学習	
国際交流 P28・P29		CCES (Christ Church Episcopal School) 短期交換留学（3月下旬 約2週間）		英国語学研修（8月頃 約2週間）		
		アメリカキャンプ（8月上旬 約2週間）		アメリカキャンプ（8月上旬 約2週間）		ギャップイヤー留学（アメリカ・マルタ・オーストラリア等）
	海外留学（個人） 中学、高校とも1回ずつ、1年以内の留学を認めています。			海外留学（個人） 中学、高校とも1回ずつ、1年以内の留学を認めています。		
キャリア教育 P27				POINT 3 キャリア学習	立教大学 学部学科説明会	立教大学 学部学科説明会（立教大学を志望する生徒対象） TOEIC WEEK 立教大学特別聴講生制度 立教GLP特別聴講生制度
					POINT 4 卒業研究論文	
その他のプログラム	しょうがい体験					
	立教大学生による夏休み集中補習（数学・英語）			ピア・サポート（高校生が中学生へ支援する活動）		
	ワークキャンプ（高齢者福祉施設でのボランティア活動）			ワークキャンプ（高齢者福祉施設でのボランティア活動）		

高校卒業後の進路 約9割が 立教大学へ進学

POINT

POINT 1 中1：新入生キャンプ・中2：清里キャンプ

5月中旬～下旬に中学1・2年生それぞれで行う2泊3日のキャンプ。祈りに始まり祈りに終わる日々を過ごし、規律正しい集団生活を体験します。

POINT 2 中3・高2：校外学習

「何を学習するためにどこに行くのか」を考え、中学生は本州、高校生は本州以外の日本国内からコースを作成。中学3年・高校2年の5月に、4泊5日の現地学習の旅をします。

POINT 3 高1：キャリア学習

職業を通して生き方を考える特別プログラム。グループに分かれて興味のある職業に就く社会人にインタビューを行い、全体発表に向けてプレゼン資料を作成。企業や社会人が抱える課題に対して解決策を探り、他者に発信する力を養います。

POINT 4 卒業研究論文

卒業論文の作成は高校2年から始まり、教員全員が小グループを担当して、テーマの決定から仮説設定までを指導。3年生では論文を完成させ、プレゼンテーションまで行います。

中学

Junior High School

基礎学力を固め、
学習習慣を身につける

Curriculum

中学では中高一貫の強みを生かし、6年間を見据えたカリキュラムとなっています。

（数字は週当たりの時間数）

中学1年

科目	必修														合計34単位
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語 英語	外国語 Practicum	外国語 Communi-cation	聖書（道徳）	礼拝	特別活動	総合（選修教科含む）	
時間	5	3	4	3	1	1	3	2	3	2	2	1	1	1	2	

中学2年

科目	必修														合計34単位
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語 英語	外国語 Practicum	外国語 Communi-cation	聖書（道徳）	礼拝	特別活動	総合（選修教科含む）	
時間	4	3	4	4	1	1	3	2	3	2	2	1	1	1	2	

中学3年

科目	必修														合計34単位
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語 英語	外国語 Practicum	外国語 Communi-cation	聖書（道徳）	礼拝	特別活動	総合（選修教科含む）	
時間	4	4	4	4	1	1	3	1	3	2	2	1	1	1	2	

選修教科（選科）

選科には大きく分けて基礎（選科A）と発展（選科B）の2種類の講座があります。1年を前半を一期、後半を二期としているため、苦手な科目について選科Aで基礎を学び直し、二期で選科Bに移動してさらに学習を進めることができます。わからないところをフォローし、興味を持ったことはどんどん伸ばしていける授業を展開しています。

	1学年（合計20講座）	2学年（合計18講座）	3学年（合計20講座）
国語B	歌詞を「読む」	国語B 百人一首の世界	国語B 「作家」の時間
社会A	社会基礎学習	国語B 物語で学ぶ日本	国語B 書道
社会B	立教の歴史	社会A 社会基礎学習	社会B 社会基礎学習
社会B	私たちとジェンダー	社会B 歴史の授業の裏側	社会B 池袋の歴史
社会B	時代劇から学ぶ歴史	社会B 私たちとジェンダー	社会B 私たちとジェンダー
数学A	数学初級講座	数学A 数学初級講座	社会B 歴史の授業の裏側
数学A	数学の復習	数学B 楽しむ数学	数学B パズル数学
数学B	数学の自由研究	理科A 理科基本問題演習	数学B 中数の秘伝ピタゴラス
理科A	理科基礎演習	理科B 理科の研究	数学B 数学中級講座
理科B	理科の研究	音楽A 声楽アンサンブル	理科B 理科の研究（上級）
音楽A	リコーダー演奏Ⅰ	音楽B ミュージックヒストリー	理科B 電波と初級プログラミング
音楽A	声楽アンサンブル	美術B 抽象彫刻	音楽B カゲキなセカイ
美術B	木で作るスプーンとフォーク	体育A テニスA	音楽B 声楽アンサンブル
体育A	初級スポーツ	体育B 中級スポーツ	美術B お面をつくる
体育A	テニス	英語A 英語基礎講座	体育B 中級スポーツ
英語A	英語基礎徹底講座	英語A 英語基礎徹底講座	体育B 上級スポーツ
英語A	基礎英語Ⅰ	英語B 英語の音声と表現	英語B 英語基礎徹底講座
英語A	英語基礎徹底講座	英語B Eng. Conversation	英語B English Conversation
英語B	English Conversation		英語B 英語で読む、説明する
英語B	Conversation Through Sports		英語B EIKEN Rre-2 Prep

2022年度開講

高校

Senior High School

教養を身につけ、
自立した人間に成長する

Curriculum

高校1・2年生で必修科目を多く受講し、高校3年生の自由選択講座によって進路の方向性を探ります。

（数字は週当たりの時間数）

高校1年

科目	必修															必修選択		ホームルーム	総合探究	合計34単位
	現代の国語	言語文化	歴史総合	公共	数学Ⅰ	数学A	化学基礎	生物基礎	体育	保健	英語 Com Ⅰ	論理・表現Ⅰ	情報Ⅰ	聖書※	礼拝※	音楽Ⅰ	美術Ⅰ			
時間	2	2	2	2	3	2	2	2	2	1	4	3	2	1	1	2		1	(1)	

高校2年

科目	必修															必修選択			ホームルーム	総合探究	合計34単位
	論理国語	古典研究	地理総合	近現代史	数学Ⅱ	数学B	物理基礎	化学基礎Ⅱ※	体育	保健	英語 Com Ⅱ	論理・表現Ⅱ	家庭基礎	聖書※	礼拝※	音楽B※	美術B※				
時間	2	2	2	2	4	2	2	2	2	1	4	3	2	1	1	1			1	(1)	

高校3年

科目	必修							必修選択						自由選択			ホームルーム	総合探究	
	論理国語	古典研究	近現代文学※	体育	英語 Com Ⅲ	論理・表現Ⅲ	礼拝※	地理探究	日本史探究	政治・経済／倫理	物理	生物	自由選択科目	国語・地歴・公民・数学・理科・外国語の各講座（2単位）より5つ選択					
時間	2	2	2	3	4	3	1	4						10			1	2	

※は学校設定科目

自由選択講座

高校3年からは、必修選択科目のほかに毎日2時間ずつ「自由選択講座」を履修します。約50種類におよぶ多彩な講座の中から、自分の興味や進路に合わせて自由に選択することができます。なかには、大学講師が担当する講座や、英語だけではなく他言語の修得に向けた講座も展開しており、卒業後に繋がる「主体的な学び」を追究しています。

3学年（合計47講座）	
国語研究（表現を読む）	立教の歴史
国語演習(日本文化)	化学※
国語表現	地学概論
古典講読	総合音楽
古典演習(日本の妖怪文化)	書道
古典研究(落語と日本文化)	スポーツ科学総論
会計学	リーダーシップ概論
政治	英語演習A
異文化トレーニング	英語演習B
観光学	英語演習C
法律	英検A
経営論	英検B
国際関係	英検C
エスノグラフィー	The News in English
沖縄学	Eng. through films A—Sports talk
地理学	Eng. through films B—Idioms
福祉	American & British English
統計入門	English Conversation
数学Ⅲ-①※	Advanced English
数学Ⅲ-②	韓国語
数学のススメ	フランス語
PCによる統計分析	ドイツ語
生活と科学	スペイン語
文化人類学	

※は4単位
2022年度開講

学びの特徴 Features

特色ある授業 自分の不得意を補い、興味を伸ばす

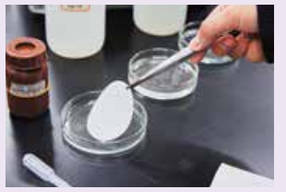
中学では自由に講座を選択できる選修教科、高校では自由選択講座を開講。不得意な部分を補い、興味のあることをさらに伸ばすことができます。その講座の中からユニークな一例をご紹介します。

立教の歴史 中学

学校から歴史を学ぶ意義を知る

社会科 牟田

立教の歴史は中学1年生を対象にした授業です。入学したばかりの学校を探検しながら、立教の敷地や校舎に残された昔のなごりを探しつつ、立教の歩んできた歴史を学習します。この活動の中で現在と昔の写真を比較してもらい、「何が変わったのか」「なぜ変わったのか」といった疑問を持ち、その疑問の答えをさまざまな歴史資料から読み解く作業をします。その後は、明治時代に生まれてから長い歴史を持つ立教の歩みを、人や事件に焦点をあてて見ていきます。過去の文化祭のパンフレット、数十年前の学級日誌、戦前の卒業アルバム、明治時代の立教関係者の手紙など、普段あまり目にすることのない立教の歴史資料を実際に見てもらい、歴史を学ぶとはどのようなことなのかを知る機会にしてほしいと思っています。



生活と科学 高校

モノの原理を科学的視点で捉える

理科 後藤

生活の中にある身の回りのものやよく見かける現象について、実験を通して体験し、原理や仕組みをサイエンスの視点から考える授業です。文系進学者向けの授業ですので、あまり高度で理論的な考察をするのではなく、体験を通して直感的に感じる「なぜ」を理解することを目的としています。「イオン飲料をつくる」、「生クリームからバターと石けんづくり」、「染料や顔料をつくって色を付ける」、「光と色を分解する」、「プラスチックをリサイクル」など題材は多岐にわたります。文系だから「理科は苦手」ではなく、文系でも「理科は面白い」と考えることができるきっかけとなってくれればと願っています。

理科の研究 中学

身近なものから科学的な視点を養う

理科 後藤 ／ 加藤

身近なものを使って科学の体験ができる授業です。個人やグループでテーマをひとつ見つけ出し、半年から一年かけて研究していきます。学年や季節によってテーマを変えていますが、植物や文房具をはじめ、遊び道具や建築物など、それらを使って科学的な視点でじっくり研究してわかったことを発表します。例えば、植物の形にはどんな共通性があるのか?葉っぱを観察して植物全体の作りを考えたり、植物の飛ぶ種を観察してそっくりに作ってみたりします。また、文房具であれば黒いインクは本当に黒いのか?文房具を使って指紋を調べたり、遊び道具の構造を調べて自分で作ってみたり。このように普段の授業では通過してしまうテーマについても時間をかけて分析することができるので、受講した生徒たちが納得感を得られるのも特徴です。

数学活用 高校

生活の中にある数学を探究する

数学科 酒井

「世界は数学でできている」。私たちの生活の中には数学がたくさん使われているのを知っていますか?この授業では、住宅ローンや金利、バーコードやQRコード、CDに使われている技術など、生活の中に使われている数学を探し、その理論を学び、実際に使ったり、理論が使われている道具を作ったりします。住宅ローンや金利の授業では、金利の仕組みを勉強しローンの返済方法を学んだうえで、自分で購入したい物件と融資先を選び返済計画を立てます。座学以外にも、企業の方からビジネス現場で数学がどのように使われているか話を聞いたり、学校のグラウンドや立教大学のキャンバスへフィールドワークに出かけたりもします。数学とは関係ないことも数学的な考え方をするとどうなるか?など、普段学んでいる数学の活用方法を修得します。

※授業の担当教員は撮影当時のものです。

学びの特徴 Features

英語教育 異文化を理解し、交流できる国際人になる

週７時間ある授業のうち１クラスを半分に分けた少人数の授業や、週に１度のネイティブスピーカーによる授業で、生きた英語に触れます。授業以外でも国際交流プログラムなどを実施しています。

少人数で本物の英語に触れる授業 目指すは真の英語力

本校では、3つの目標「自己発信力」「コミュニケーション能力」「異文化理解と対応力」を設定。実践的な英語力を身につけられるように、Listening、Speaking、Reading、Writingのそれぞれをバランスよく実施しています。コミュニケーションの授業では、スピーチの作成や発表を積極的に取り入れ、自分の考えを論理的にプレゼンテーションできる発信型の英語力を養います。通常の英語の授業でも検定の教科書以外に、ESL、EFL教材※など自然な表現の英語でつくられた教材を使用しています。中学校では4技能のバランスがとれた学習を大切にしており、高校では、英語圏をはじめ世界を相手に柔軟に理解し、的確な表現で自己発信できる英語力の育成をはかっています。英検やTOEFL、TOEICなど公的な検定試験にも挑戦できるように、選択科目の中に検定受検対策プログラムが用意されています。

※第2言語あるいは外国語として英語を学ぶための教材

英語教育の4つのTopics

1. 週７時間の授業数	2. 少人数授業専用教室11室
3. 歴史ある国際プログラム	4. 英検1級・準1級取得者30名(高3) ※2021年度実績

授業構成と内容

各学年、文法や語彙など英語力の根幹を定着させる授業、映画や音楽、ニュースなど生の音源で英語脳をつくる授業、スピーチ発表やエッセイの作成を通して自己表現のスキルを磨く授業などのカリキュラムで構成しています。

Special Advanced Class (Sクラス)

主に帰国生を中心とした、英語の得意な生徒を対象に選抜テスト※を実施して構成されたクラス。週7時間の授業のうち、ネイティブスピーカーによる英語だけの授業を4時間実施し、英語力の維持とスキルアップを目指します。 ※帰国生以外も対象

検定試験 資格試験

中学校では英検3級の受験を全員に課し、高校では立教大学への推薦要件の1つとして、英語についての一定の能力の認定を設け、英検、GTEC for Students Advanced、TOEICを学校で受検できる機会を提供しています。

海外留学

アメリカキャンプや提携校であるCCESとの交換体験留学、高校では英国語学研修、さらに都内のインターナショナルスクールとの交流などを実施。活動を通して自分の英語力を試すことができる機会を多く設けています。

英語科 綾部

英語を学ぶ醍醐味の一つは、他者の視点や異なる文化を自分に採り入れようとすることです。英語コミュニケーション能力を身につけるためには、一生涯を通して学び続けなければなりません。そのために私は、中高6年間で、皆さんが英語を学ぶ面白さや楽しさを感じ、新しい見方や多様な考えを知るきっかけとなるような授業づくりを心がけています。共に英語学習の旅に出かけましょう。

英語科 フォーバー Communication ⅢB(高3)

The primary aim of this class is to engage students in discussions and learning around content that is relevant to them. An example of this is the role of social media in our lives and how technology companies use our data. The expectation is that students will deliver their own content through group presentations in English at the end of the course. Rather than a traditional style of presentation, the students will engage their classmates in a discussion around their chosen topic. We believe that such a style is useful for both University and the workplace. The class is delivered by both a native and Japanese teacher and in this way we are attempting to redefine the role of traditional team teaching.

Student's Voice

英語力を活かして、海外の人と関わっていきたい。

ネイティブの先生と話すために積極的に英語を使ったことが、英検2級の面接対策となり、合格に結びつきました。今年はドイツに1年間留学します。ドイツ語が主流ですが、わからない単語は英語でカバーしなければなりません。この留学で英語力を向上させ、他国の人と話すための技術や勇気を身につけたいです。将来は外国語を使う企業に就職し、海外の人と関わっていきたいと思っています。

学びの特徴 Features

教科紹介 活きた学びを、広く深く

中高一貫連携教育における自由な学びのなかで、基礎から発展までの学習を偏ることなく着実に身につけることを目標として、大学進学後を見据えた授業が各教科で展開されます。

国語 JAPANESE

「日本語」を通して物事を的確に捉え、深く考える

中学で学ぶこと

説明的文章、文学的文章、詩歌等をバランスよく扱います。1年生では書写の学習もあります。実作に力を入れており、さまざまな文章も作成します。

高校で学ぶこと

現代文・古典それぞれの分野をバランスよく扱います。評論、小説、古文、漢文などさまざまな作品を扱い、実作にも力を入れています。

数学 MATHEMATICS

筋道をたてた説明や証明ができ、
根拠に根ざした理解力をつける

中学で学ぶこと

学習の基本となる正確で素早い計算力を身につけます。日常にある現象を数学的に観察・解釈し、論理的に説明する力を養います。

高校で学ぶこと

自ら問題を見つけ、数学的な手法により解決する姿勢を身につけます。抽象的な事柄にも触れ、根底にある考え方や構造を探究します。

社会 SOCIAL STUDIES

地理・歴史・政治・経済、倫理を有機的に捉え、
社会でどう生きていくか考える

中学で学ぶこと

地理、歴史、公民の3分野について、資料を活用しながら基礎的な力を養成するとともに、客観的に事象をとらえ分析する姿勢を身につけます。

高校で学ぶこと

中学で身につけた力を土台に学習の幅を広げるとともに、多くの選択科目の中から自分のテーマに即した科目を受講し、学びを深化させていきます。

理科 SCIENCE

実験・観察により探究心を持って
自然事象の理解を深める

中学で学ぶこと

物理・化学・生物・地学を基礎的な内容からバランスよく学習します。さまざまな身の回りの現象を科学的視点から理解するための基礎的な力を身につけ、個別学習や探究活動を通して実践する力を培います。

高校で学ぶこと

中学校で学習した基礎的な力を活用し、発展的な内容へと深めていきます。高校3年次には選択科目として、より高度で専門的な内容も学習します。

音楽 MUSIC

体で覚え全身で表現する力をつける

中・高共に歌唱を中心に表現する力を養います。器楽はアルトリコーダーやギターを学び、プロの先生によるレッスンがあります。生の音楽に触れることを目的にピアノトリオによるジャズ演奏、金管五重奏の音楽鑑賞など、感性豊かな人間教育を目指しています。

美術 ART

アイデアをかたちにする喜びを通して感性を磨く

鉛筆画やデッサンといった基礎的な制作をはじめ、版画や水墨画、デザインなどの幅広いジャンルに挑戦します。実際に手を動かすことで創出する喜びを覚え、芸術のみならず身近な文化への深い観察の姿勢を身につけてもらうことを目標としています。

保健体育 HEALTH AND PHYSICAL EDUCATION

健全な心身を育み表現力や判断力を培う

中高生は身体的にも精神的にも著しく成長します。この時期に仲間とともに体を動かし協同することは、情緒面の発達を促し、協調性を身につけ、表現力や判断力を培うことに繋がります。この6年間で気づくことのできる課題に向き合い、健全な心身の成長を育みます。

技術・家庭 TECHNOLOGY ARTS AND HOME ECONOMICS

自立した社会人になるための準備をする

技術科では、中学はコンピューターの基礎を、高校では表計算ソフトからプログラミングまでを学習します。家庭科では、被服実習や調理実習を通じ、身近な問題へのアプローチから生活者としての意識を高めます。

聖書・礼拝 BIBLE・WORSHIP

聖書に親しみ、チャペルで祈り、自分、仲間、社会、世界について心静かに考える

聖書は今から2000年以上も前に書かれた古い書物でありながら、今なお全世界で読まれています。本校では、学校生活の基本に祈りを据え、聖書・礼拝を大切にし、節度と秩序、マナーを身につけ、他者への思いやり、感謝する心を養うために「聖書」「礼拝」をそれぞれ週1時間ずつ設けています。聖書を学びつつ、新しい人生を歩み、神や人々によって生かされている喜びを体験しましょう。

祈り 毎日の始業前と終業後に行う学活では、各クラスごとに祈りを献げます。各学期の始業礼拝と終業礼拝、入学式、卒業式、イースター（復活日）礼拝、収穫感謝礼拝、クリスマス（降誕日）礼拝、創立記念礼拝などは、全校生徒・教職員が集まり共に祈ります。

朝礼 毎週水曜日8時より、全校生徒・教職員がグラウンドに集い、全員で祈ります。

学年礼拝 各学年ごとに週に1度、授業時間内に立教大学池袋キャンパスにある立教学院諸聖徒礼拝堂（池袋チャペル）で行います。心静かに同学年の全員と共に祈り、共に学ぶ時間です。

学びの特徴 Features

リーダーシップ教育

新しいリーダーシップを育む

グローバル化が進む一方、ローカルな事象も複雑に絡み合う社会で、本校が創立以来掲げてきた教育目標「テーマをもって真理を探究する力を育てる」「共に生きる力を育てる」は、これからの時代に必要不可欠なものです。また、複雑な社会だからこそ、課題解決方法は1つのルートでも1つの正解だけでもありません。課題解決には役職·権限·カリスマ性に関係なく、誰もがもって発揮できる「新しいリーダーシップ」が必要です。学校生活でも、この新しいリーダーシップを発揮すべき場面は多々あります。ここでの経験から、真のグローバルリーダーとして日本·国際社会に貢献する人材を育成することは、本校の社会的使命でもあります。

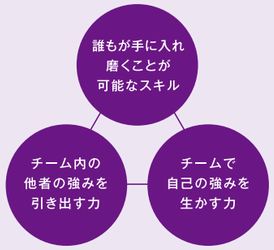
《従来のリーダーシップ》

多様な背景·価値観をもつ人と協働する機会が増えている現代ではうまく機能しない

一人のカリスマが集団を率いる

《立教が育むリーダーシップ》

全員が発揮できる新しい形のリーダーシップ



リーダーシップ3要素

リーダーシップとは、個人の能力や資質といったカリスマ性や、その人の役職·権限によって周りをリードする特性や行動とされてきました。しかし、近年、社会が求めるリーダーシップとは、周囲と協調しながら、各人が与えられた場で発揮できる行動力であり、個人の資質にかかわらず、誰もが学習して身につけられるものとされています。これは、協調性を保ちながら周囲を牽引していくという本校生徒の特色と一致します。具体的には、各個人が自分の特性を活かして意識的に行動や態度で示し、チームの目標達成に向けて貢献する力であり、右記の3つの行動が土台となります。

1 **目標共有**
チームが達成すべき目標を明確に設定し、チームメンバーと共有し、それをチームとして目標を意識し続けられるよう働きかける。

2 **率先垂範**
自らのテーマ·生き方をもち、そこに向けて主体的に行動することで、周囲に影響を与える。

3 **同僚支援**
仲間が行動しやすいように、壁や障害を取り除き、チームとして最大のパフォーマンスを発揮できるような環境を整備する。

リーダーシップ概論（高3自由選択講座）

リーダーシップは一部の偉い人だけが発揮するのではなく、誰もが発揮することができ、それにより周りの人に良い影響を与えることができます。この授業では5人が1つのチームになり、与えられたテーマに対して取り組みます。授業のほとんどの時間はチームでの話し合いや作業であるため、にぎやかに楽しみながらリーダーシップを身につけることができます。高大連携を象徴する授業の1つで、立教大学の教員と経営学部の学生が担当します。

これまでのリーダーシッププログラムはこちら

運動部リーダーシッププログラム

企業との課題解決型学習

学びの環境 Surroundings

ICT環境

将来を見据えたICTの活用

本校では「情報統合力を養う」「思考力を養う」「コミュニケーション力を養う」「情報モラルを身につける」の4つをICT教育における目標と定め、ICT教育を推進しています。2018年度より高校生に1人1台タブレット型PCを導入しましたが、上記目標の達成に向けてICTを活用した教育活動をより積極的に展開していくため、2022年度より中学生にもタブレット型PCを1人1台導入しました。また、高校生にはBYOD方式を導入し、より自由に生徒が活用できる次の段階へ移行しました。もはやICT機器の活用は当たり前となり、タブレット型PCも筆記用具やノートと同じ教具の一つと考えています。ICT機器の活用が進む社会情勢の中で、学力の向上ではなく未来へ繋がる実践的なスキルを身につけ、機械に使われるのではなく、適切に活用できる力を身につけてほしいと願っています。

ICTを用いた最先端の教育環境

タブレットPCによる拡張性のある学び

生徒用端末にタブレットPC(2-in-1)を採用しています。これは、単に学習用としてではなく、自ら情報を編集、発信する力を育てたいという願いからです。中学で基本的な使い方を学習、高校ではさらに発展させ、卒業研究論文の執筆、プレゼンテーションを行うことが目標です。

双方向的かつ能動的な授業

授業支援サービスを使って課題の提出、返却、資料の配布を瞬時に行えます。生徒たちは文章を打ち込むだけでなく、手書きで資料に書き込むことも、音声や動画を撮って送信することもできます。また、教員端末と連動したプロジェクターでの回答共有や、授業外でも期限を設定した課題を配信できます。

コミュニケーションの活性化

Microsoft Teamsを活用することで、授業や学校全体での資料配布や情報共有だけでなく、課題の提出なども可能となり、教職員と生徒間のコミュニケーションの活性化に繋がっています。

専門スタッフによるICTサポートの拡充

ICTサポート室を設け、専門スタッフが常駐し、生徒のタブレット端末の利用に関する運用をサポートしています。端末に不具合が生じた場合や、破損してしまった場合の修理は、ICTサポート室で対応します。

中学1年生を対象に「Surface Go」1人1台導入※

※2022年度より(高校生はBYOD)

貸し出しタブレット150台完備※

タブレットを保有しない学年に対しても授業や学級活動等で必要に応じて使うことのできる貸し出し用のタブレットが準備されています。選修教科や、英語の文集作成、校外学習の準備、R.I.F.等の学校行事で積極的にタブレット端末を活用しています。

※1学年分

ICT利活用の事例はこちら

体験学習

Active Learning

■ キャンプ

中学1・2年生

5月中旬～下旬に、中学1・2年生それぞれ2泊3日のキャンプを行っています。祈りに始まり祈りに終わる日々を過ごし、規律正しい集団生活を体験します。各種プログラムを通して、生徒同士や先生との交流を深め、自然と自己を見つめる機会となっています。キャンプの体験はクラスごとにまとめ、R.I.F.（文化祭）で発表しています。

新入生キャンプ

大房岬の大自然の中で、共同作業を通して相互理解を深め、新生活の基盤となるクラス作り・学年作りをテーマに掲げて寝食を共にします。

清里キャンプ（中2）

目的別プログラムや夜の森をライトなしで歩く「ナイトハイク」など、レンジャーと呼ばれる専門スタッフとの自然保護活動を通して自然をより深く学び、友情や絆を強めます。

■ 校外学習

中学3年生・高校2年生

5月に、4泊5日の現地学習の旅をします。中学生は本州、高校生は本州以外の日本国内からコースを作成します。「何を学習するためにどこに行くのか」を1年かけてじっくりと考え、コース作成委員によるプレゼンテーションや自分で調べたことを参考に、希望の行き先を選択します。研究テーマを設定して、班別の自主研修を含めた現地学習を行い、レポートを作成します。

中学3年（過去の実施コース例）	高校2年（過去の実施コース例）
東北コース	道央・道東コース
北陸コース	四国コース
山陽・山陰コース	九州コース
関西コース	沖縄コース

キャリア教育

Career Learning

■ キャリア学習

高校1年生

職業を通して人生を考える

将来、社会人・職業人として社会で生きていくための基礎的な態度と力を発達させることを目的としたプログラムです。社会人に接することで、ライフデザインとしてキャリアをとらえ、自分の人生を考えるきっかけにします。グループごとに職業インタビューを行い、ポスター制作とプレゼンテーションで成果を共有します。

- Point 1　事前学習として、自分が興味ある職業（業種・職種）などについて調べる
- Point 2　業種ごとにグループを作り、その業種に就いている人に直接インタビューし、価値観・仕事観・人生観などを知る
- Point 3　インタビュー内容をまとめ、ポスターセッションや訪問先から与えられた課題※への提案などプレゼンテーションを行う

※例：自動車業界におけるカーボンニュートラル実現可能性 など

SCHEDULE

事前準備		職業レディネステストの実施と解説（中3） 業種アンケートの実施 各グループからインタビュー訪問職種希望先選定 外部講師によるインタビュー方法のレクチャー
特別プログラム	1日目	外部講師による基調講演 インタビュー準備
	2日目	インタビュー実施（訪問・来校・ONLINE）
	3日目	プレゼンテーション講座 ポスターセッション、プレゼンテーションに向けた準備
	4日目	ポスターセッション、プレゼンテーションに向けた準備 プレゼンテーションのリハーサル
	5日目	ポスターセッション、プレゼンテーションの実施 プログラムの振り返り
事後		感想提出 報告書やまとめをインタビュー先にお礼状とともに送付

■ TOEIC WEEK

高校3年生

日常生活や社会生活に英語を結びつけて学ぶ

大学進学を見据えて自己の英語力を高めるために、高校3年では5日間の「TOEIC WEEK」を実施しています。ECCの講師陣による講座を受け、最終日のTOEIC® IP Testで実力を計ります。また、Global StudyとField Workで生きた英語を体験します。

1日目	ECC講座 TOEIC® Guidance
2・3日目	ECC講座 Global Study Field Work
4日目	ECC講座、模擬テスト
5日目	TOEIC® IP Test

Global Study
10人程度のグループにネイティブの講師がつき、全て英語で会話します。

Field Work
外国人向けの日本人ガイドに英語で東京を案内してもらい、その感想や注意事項をシェアリングします。

国際交流

International Exchange

■ アメリカキャンプ

8月上旬　約2週間　対象：中学2年生～高校1年生

キャンプを通じて、文化の違いを超えて交流する

本校の母体となった「アメリカ聖公会」との繋がりから、長年にわたりアメリカの各地で行われてきた海外キャンプ。現地の青少年キャンプに立教生も参加する海外体験プログラムです。

Student's Voice

自分の価値観に大きな影響を与えてくれました

キャンプでの経験を通じて、英語はもちろん、日本と海外の文化や価値観の違いを学ぶことができました。日本ではなかなか機会がもてない海外の方々とのコミュニケーションなど、これからの時代に必要と思えることを体験的に学べたと思います。不安に思うこともあるかもしれませんが、貴重な経験になると思うのでぜひチャレンジしてみてください！

■ ギャップイヤー留学

1カ月間　対象：高校3年生

進路の決定した高校3年生が、1カ月間英語を学び海外体験をします。（アメリカ・マルタ・オーストラリア等）

■ 海外留学（個人）

中学、高校とも1回ずつ、1年以内の留学を認めています。

■ 奨学金制度

国際交流奨学金（給与）

本校が主催する国際交流プログラムに参加する生徒の国際交流体験を奨励します。

海外留学奨学金（給与）

休学して海外留学した場合、状況に応じて留学期間中に納入した授業料（半額）を、復学した時点で還付します。

■ 英国語学研修

8月頃　約2週間　対象：高校1・2年生

英国での語学研修、文化交流

英国の伝統あるパブリックスクール、ハロウ校で、世界各国から参加する同世代と2週間過ごし、英語力はもちろん、国際感覚を養います。帰国後もSNSなどでのやり取りを通し、参加者たちは英語力に磨きをかけています。

Student's Voice

多様性や英語を学ぶ意義を感じました

多種多様なバックグラウンドを持つ仲間たちと授業、エクスカーションやスポーツなどを英語だけでこなしました。授業は少人数で話すことに重点を置いたグループワークが中心で、国によって全く違う法律や問題があるなど新たな気づきを得られ、問題意識が高まりました。多様性や英語を学ぶ意義などを見い出せる2週間になると思います！

■ CCES（Christ Church Episcopal School）短期交換留学

3月下旬　約2週間　対象：中学2年生

春の短期留学、ホームステイで学ぶ貴重な体験

毎年3月にアメリカ聖公会の私立学校CCESへ2週間の短期留学を行っています。6月にはCCESからの留学生が本校の授業に参加します。長年続いているこのプログラムでは、異文化交流を通じて大切な出会いと友情を育んでいます。

■ 立教英国学院留学

1年間　対象：高校1・2年生

ロンドン郊外のGuildfordにある広く恵まれた環境で日英融合教育を体験することができます。立教英国学院で取得した単位は本校の単位として認め、帰国後は進級復学することができます。

国際プログラムの詳細はこちら

クラブ活動

目標に向かって仲間と共に成長できる
かけがえのない日々が待っています。

各クラブの活動詳細は
HPをご確認ください。
Check!

https://ikebukuro.rikkyo.ac.jp/club/index.html

仲間と「共に生きる」6年間

本校ではクラブのことを「学友会」と呼んでいます。学芸部は15の部活と1団体、運動部は10の部活で構成され、
充実した設備の中で多様な活動を展開しています。学友会活動は「テーマをもち」、「共に生きる」ための重要な活動のひとつです。

CULTURE 学芸部 ——— 伝統を受け継ぎ、未来につなぐ

英語部
中学生と高校生が一緒にディベート大会、スピーチ大会、英語劇、模擬国連などさまざまな大会にも参加しています。

演劇部
演出・脚本・照明・音響など全て部員が行い、自由な発想で思い切った活動ができます。

科学部
生徒一人ひとりが自分の研究テーマを設定し、互いの研究成果を共有しながら切磋琢磨していくクラブです。

写真部
「目に映るものを"カタチ"に」を合い言葉に、自分の写真の楽しみ方を見つけます。

吹奏楽部
世界に通用するサウンドを目指し、中高生が日々練習しています。

数理研究部
日々の生活の中で黒子的な存在である数学に着目し、数学を基本に、情報科学や社会科学も含めた研究を行う部活動です。

生物部
身近な疑問に着想を得た生物にとらわれないさまざまな研究を行い、日本学生科学賞をメインに出展しています。

聖ポーロ会
パイプオルガンのレッスンを行っています。オルガニストの先生をコーチとして、週1回、大学のオルガンをお借りして活動しています。

地歴研究部
夏に実施する研究旅行を中心に前期は事前学習を行い、中期はRIFでの展示発表を行います。

鉄道研究部
鉄道という共通のテーマを軸に、各メンバーが自分の興味・関心のある分野を深め、他のメンバーと共有することを大切にしています。

天文部
星空を実際に観望し、宇宙の神秘と美を体感するとともに、天体観測の意義を普及することを目指しています。

美術部
風景画・彫刻・イラスト・電子工作など、部員それぞれが作りたいと思った物を、とにかく自由に制作しています。

文芸部
小説、短歌、俳句など分野を問わず、仲間とともに文芸の楽しさや奥深さを知ることを第一の目標として活動をしています。

放送研究部
日々の学校生活に直接関わる毎朝の伝達放送、毎週水曜日の朝礼、各学期の始業・終業礼拝等の放送の運営にあたっています。

クワイヤー
キリスト教の礼拝で奉仕する聖歌隊です。イースター・学院創立記念礼拝、クリスマス礼拝などで活動をしています。

アコライト・ギルド（奉仕団体）
立教学院唯一の中学生・高校生・大学生が所属する団体で、大学チャペルでの毎週日曜日の礼拝奉仕や、学年礼拝のお手伝いなどをしています。

SPORTS 運動部 ——— 伝統を受け継ぎ、活躍を誓う

中学サッカー部
練習や部員とのコミュニケーションを通してチームの絆を深め、都大会上位入賞をひとつの目標として、日々努めています。

高校サッカー部
サッカーの技術向上だけでなく、チームの為に全員がひとつにまとまり、チームワークを大切に練習に取り組んでいます。

中学卓球部
卓球というスポーツを通して、礼儀・技術・体力・精神力を養い、仲間を大切にし、充実した学校生活を送れることを目指しています。

高校卓球部
顧問とコーチのサポートのもと、メリハリとやりがいのあるクラブを目指しています。

中学庭球部
①試合に勝つためのテニス②チームワークを重視した活動の中で人間性を高めることを目標に活動に取り組んでいます。

高校庭球部
テニスは団体競技であるとして、互いに励まし合いながら活動しています。

中学バスケットボール部
部活動を通じて、部員一人ひとりが朽ちない冠を得る。卒業したときに、そのような学びができていることを目標に日々活動しています。

高校バスケットボール部
少ない人数ながらも、技術の向上と心身の強化を目標に、日々素晴らしい体育館で活動しています。

中学野球部
伝統あるチームの中で、皆が自分と仲間に本気で向き合い高め合っています。

高校野球部
限られた時間と環境を有効に活用し、個々のレベルアップを図るとともに、練習試合などの実戦を通してチーム力のアップを図っています。

剣道部
日々の稽古を積み重ね、剣道の技術を向上させること、礼儀作法を修得すること通して、一人ひとりが、また集団としても成長することを目標にしています。

山岳スキー部
スキーを通じて人間力を育てられるよう、日々活動しています。

水泳部
水泳を通し、心身ともに鍛え、また仲間との絆を大切にメリハリのある学校生活を目指しています。

陸上競技部
陸上競技ができることに感謝し、試合や練習ではお互いに応援し、高めあい、選手力の高いチームになってほしいと願っています。

釣り同好会
自然に親しみ、仲間と楽しく有意義な時間を過ごす。また、釣り会を通じて環境について考え、大切にする機会としていくことが目標です。

※中高 マークは中高が一緒に
活動している部です。

※学芸部は中高が一緒に活動しています。

※アコライト・ギルドは学友会ではなく、
奉仕団体として活動しています。

FACILITY INTRODUCTION

施設紹介

理想的な学習環境と充実のスポーツ施設が、
文武両道を支えます。

1 教室 中学生の教室は3階に、高校生の教室は4階にそれぞれ12室ずつ配置。全教室に電子黒板機能付プロジェクターを完備。

2 英語教室（校舎3階）
ICT化に対応した、少人数用の10教室を完備。

3 情報教室（校舎2階）
情報化社会に対応した授業を展開するための専用の教室。

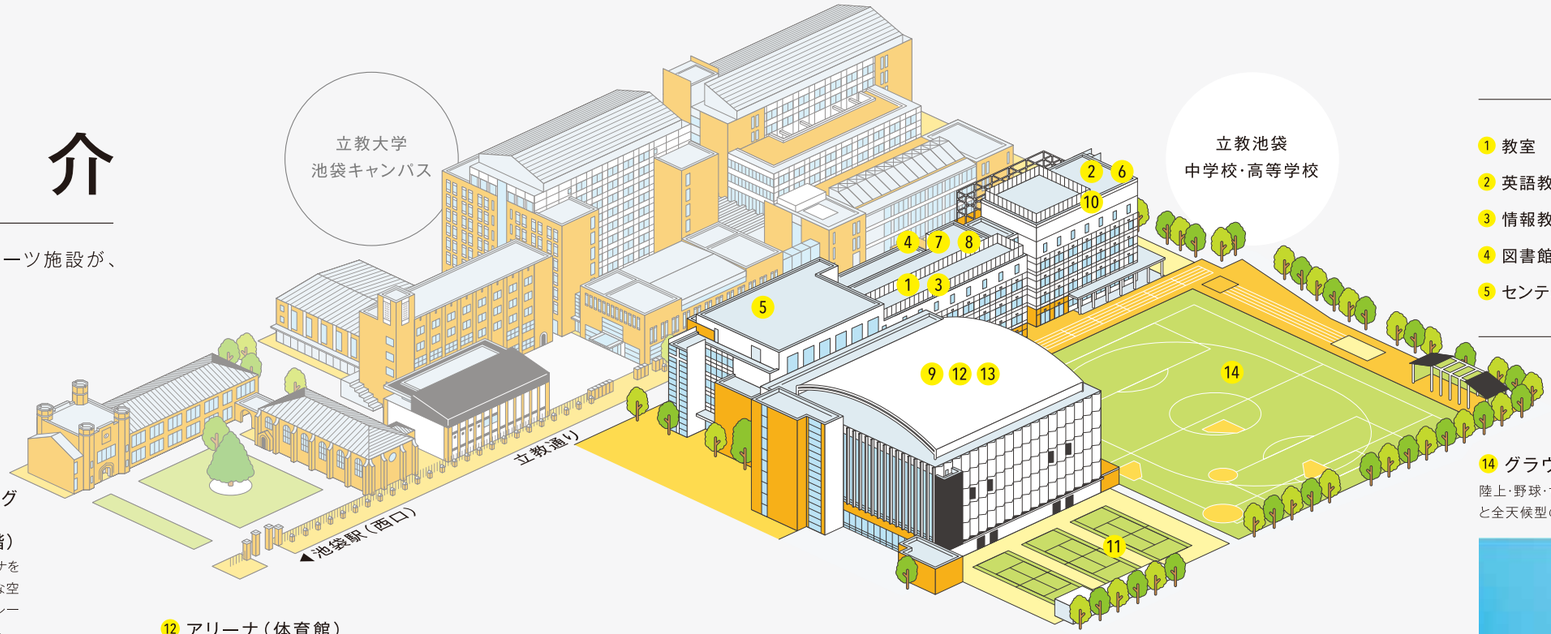
4 図書館（校舎1階）
生徒の学習活動をはじめ、豊かな人間形成と教養を身につけるための蔵書77,906冊（2022年1月）を備え、学びをバックアップ。中学1年次にはガイダンスを実施、各教科においても図書館で行う授業がある。

5 センテニアルホール（校舎5階）
音響にも配慮した多目的ホール。256席の移動観覧席を設置し、最大520人まで収容できる。

6 カフェテリア（校舎1階）
売店を併設し、休み時間には大勢の生徒が集う開放的な空間。

7 家庭科室（校舎地下1階）
テーブルごとにIHクッキングヒーターとシンクを備えた、調理実習対応の教室。

8 化学実験室（校舎4階）
実験台ごとに排気装置を設け、安全性に配慮した実験室。



9 トレーニングルーム（体育館2階）
ガラス越しにアリーナを一望できる開放的な空間に、さまざまなトレーニングマシンを完備。

10 屋内練習場（校舎5階）
29m×12m×梁下高さ5m、2重張りネットの練習場。野球部が使用。

11 テニスコート
砂入り人工芝コートが3面。

12 アリーナ（体育館）
地下1階、地上4階の体育館。1階はバスケットコート2面の広さで、2階部分には1周125mのランニングコースがある。

13 プール（体育館地下1階）
50m×6コース、水深1.2～1.5m。1年を通じて使用できる屋内温水プール。

1 教室
2 英語教室
3 情報教室
4 図書館
5 センテニアルホール
6 カフェテリア
7 家庭科室
8 化学実験室
9 トレーニングルーム
10 屋内練習場
11 テニスコート
12 アリーナ（体育館）
13 プール（体育館）
14 グラウンド

14 グラウンド
陸上・野球・サッカー・テニスなどの多種多様なスポーツに対応した全面人工芝グラウンドと全天候型の走路。

学生サポート

生徒が有意義な日々を過ごせるようにさまざまな支援体制を整備。安心して学校生活が送れるようにバックアップしています。

保健室

健康診断の結果をもとにした生活指導、怪我の応急処置、体調不良時の対応などを行っています。ちょっと元気がないときに気軽に立ち寄れる場所でもあります。

保護者勉強会「生徒の健康を考える会」

保護者と中高生の心身の健康について考える勉強会を実施しています。学年の枠を超えて保護者が、さまざまな専門の講師からお話を伺います。

真崎養護教諭

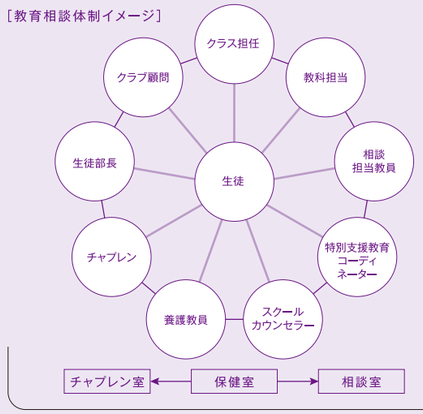
教育相談体制

生徒や保護者のみなさんは、学校や生活上の悩みごとや相談がある場合、クラス担任だけでなく、教科担当教員やクラブの顧問教員、養護教諭や相談担当教員、チャプレン（学校付き牧師）やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど、誰にでも話をすることができます。そして、それらの悩みごとや相談に対して、教職員全体で連携し、チームでサポートします。個々との対話を積み重ね、一人ひとりの問題に寄り添った最善の解決を探ります。

ピアサポート活動

ピアサポート活動は、生徒同士の助け合いを目的とした有志の高校生による活動です。生徒が主体となり、高校生が中学生に勉強を教えるピアスタディ、昼休みの教室見守り運動など、一貫校の強みを活かした活動を行っています。また、学校の校則や制服などをテーマに議論を行い、よりよい学校にしていくための施策を検討します。

［教育相談体制イメージ］



※相談室委員会の内容には守秘義務があります

安全対策

警備体制

立教大学の警備室と連携して24時間体制で警備を行っています。正門の守衛室に警備員が常駐して来校者を確認、入構証を渡しています。

学校からの情報発信

「スクールメールシステム」で学校からの情報を受け取ることができます。また、学校行事の連絡、配布資料の確認ができます。緊急時の連絡も行います。

校長メッセージ

一貫連携教育により、社会で生きる力を身につける

本校は、立教小学校から立教大学を含めた立教学院という組織の中で、一貫連携教育を行っています。この一貫連携教育とは、単にそのまま上級の学年に進めるということではなく、各学校が責任を持って上級の学年、学校に推薦できるように人物を育て、最終的に社会で生きる力を身につけるということを意味しています。現在我々が生きている社会はますます複雑になり、そして急速に変化しています。このような社会で生きていき活躍するためには、これまでよりもはるかに幅広い知識と深い思考力が必要とされます。このために立教学院では「テーマをもって真理を探究する力」と「共に生きる力」を身につけることを目標としています。「テーマをもって真理を探究する力」とは、主体的にテーマを探し出し、自ら知識を得ようとする力のことです。また「共に生きる力」とは、他者の人間性を理解し、他者の痛みを分かち合うことになります。これら二つの力を身につけるために、本校では基礎学力を重視するカリキュラムとともに、さまざまな体験学習プログラムを用意し、同時に豊かで的確な日本語を使う能力と、生きた英語の能力を身につけることに力を入れています。

校長　豊田 由貴夫

立教学院　一貫連携教育

立教学院は、米国聖公会から派遣された宣教師チャニング・ムーア・ウィリアムズ主教が1874年、東京・築地に聖書と英学を教える私塾「立教学校」を開いたことに始まります。
今日まで「キリスト教に基づく人間教育」を建学の精神に据え、「テーマをもって真理を探究する力」と「共に生きる力」を育むことを共通の教育目標に掲げ、小学校から大学まで一貫した連携教育を行っています。

立教学院の創立者
ウィリアムズ主教
チャニング・ムーア・ウィリアムズ
1829～1910

テーマをもって真理を探究する力

学生・生徒・児童たちが、他者から与えられるのではなく、自主的・自律的に学習・研究活動を進めることを目指します。

共に生きる力

友人、知人、家族をはじめ、地域、国、世界の人々と理解を深め、協力して今日の課題を担い、未来を拓く力を育てることを目指します。

HISTORY

1874（明治 7）年	"St. Paul's School一立教学校"のはじまり。ウィリアムズ主教、築地に私塾を開く
1896（明治29）年	立教中学校のはじまり。立教学校を廃し、立教尋常中学校、立教専修学校を設置
1899（明治32）年	中学校令改正により、立教尋常中学校を立教中学校とする
1923（大正12）年	立教中学校、関東大震災で校舎焼失し池袋へ移転
1948（昭和23）年	学制改革にともない旧制立教中学校を廃し、「立教高等学校」「立教中学校」「立教小学校」開校
1960（昭和35）年	高等学校、新座に移転
1976（昭和51）年	立教中学校、教育改革の一環として「選修教科（選科）」発足、「認定制」を導入
2000（平成12）年	立教中学校は「立教池袋中学校」と改称し、「立教池袋高等学校」を併設 立教高等学校は「立教新座高等学校」と改称し、「立教新座中学校」を併設
2013（平成25）年	新教室棟とポール・ラッシュ・アスレティックセンター（総合体育館）の利用を開始
2014（平成26）年	ウィリアムズ主教が築地に立教学校を開いてから140周年を迎える 1学年4クラス制に
2018（平成30）年	高校1年生に一人一台のタブレット型PCの利用を開始
2022（令和 4）年	中学1年生に一人一台のタブレット型PCの利用を開始

旧校舎

旧体育館

現校舎

ACCESS MAP

最寄りの駅

池袋駅(西口)	徒歩10分	[JR線、東京メトロ丸ノ内線・有楽町線・副都心線、西武池袋線、東武東上線]
要町駅(6番出口)	徒歩 5分	[東京メトロ有楽町線・副都心線]
椎名町駅	徒歩10分	[西武池袋線]

最寄りのバス停

池袋車庫	徒歩 5分	[池袋駅～JR中野駅]
池袋二丁目	徒歩 4分	[池袋駅～高島平駅/中丸町・熊野町]

SNS

立教池袋中学校・高等学校公式SNSもご覧ください。

Twitterでは、
リアルタイムな情報を
随時UPしています

Instagramでは、
学校生活の写真を
随時UPしています

Facebookでは、
学びや行事の記事を
随時UPしています

SPECIAL WEB SITE

立教池袋中学校・高等学校の特設Webサイト

RIKKYO REAL 公開中!

生徒やOBの声、数字で見る立教池袋など、
リアルな学校生活の情報をお届けします。

立教池袋中学校・高等学校

〒171-0021　東京都豊島区西池袋5-16-5　TEL 03-3985-2707　https://ikebukuro.rikkyo.ac.jp/